

○ 福島県水道ビジョン策定に当たっての現状分析・課題の抽出方法の考え（手法）

現状分析や課題の抽出に当たっては、以下の2つの手法によりアプローチしていく。

- ①資料 1 - 2 の分析項目について把握を行い、その客観的な**分析データ**から現状や課題等を抽出する。
- ②事業体等からのアンケート等による**生の声**からも課題等の把握を行う。

<①のイメージ>

資料 1 - 2 の項目

| 分類 | 現状分析の視点 | 分析項目 | 現状・課題 ※下記の記載内容はイメージ |
|----|---|--|---|
| 安全 | 水源汚染等（クリプトスポリジウム、油流出等、原水高濁度長期化、カビ臭原因物質等）のリスクへの対策がなされるか。 | クリプトスポリジウム対策実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・○%以上の事業体で対策が講じられていない ・汚染件数 H30:□件 H29:●件 H28:■件 |
| | | 水源汚染等の状況 | |
| | 水源から給水栓に至る統合的な水質管理がなされているか。 | 水安全計画策定状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・△%の事業体で策定されている。 ・基準超過件数 H30:▲件 H29:△件 H28:▲件 |
| | | 水質基準超過状況 | |
| 強靱 | 水道施設（管路を含む）の耐震化は十分なされているか。 | 管種別の布設状況 耐震管と非耐震管の布設状況 施設の耐震対策実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・石綿セメント管の残存率は○%となっている。 ・耐震管:非耐震管の割合 □%:●% ・未対策の施設が■割を占める。 |
| 持続 | 水道水は安定的に供給されているか。 | 断水発生状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生件数 H30:△件 H29:▲件 H28:△件 ・○割の事業体で十分な水源水量を確保 |
| | | 水源水量 | |

分析データ等から課題等を抽出

<②のアンケート>

昨年12月に実施したアンケート結果参照（資料 1 - 3）

※今後必要に応じて事業体等への聞き取りや追加アンケート等を実施していく。